

ともえ



行動する
はつらつたる
商工会議所



函館中華会館

No. 113 函館商工会議所報
1990 — 10月号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

Lh(株)カードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。

あなたの預金で郷土を拓く。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

視 点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
寄 稿 文	10
共済推進コーナー	12
ティータイム	13
アドバースコーナー	14
Q & A	16
新会員ご紹介	18
ご 案 内	21

◇表 紙

函館中華会館
 明治四十三年（一九一〇）、関帝廟形
 式の集会所として建設された日本唯一の
 純中国風レンガ造りの建物である。唯一の
 対中国貿易が盛んであった明治時代に
 在留する多くの華僑の集会所であった。同
 徳堂三三公所が明治四十年に焼失した
 てしまったことから、不燃質の建物を作
 ろうと、当時、レンガ工や大工などの職
 人を中国から招いて建築したことも有
 名である。
 （この建物は今年で建築八十周年を迎え

●視 点

朝夕めつきりと冷えこむようになりました。山々には例年より遅いようですが、紅葉も見られるようになり、秋の夜長を楽しむ季節を迎えています。

所で、我国事業所の大宗を占めている中小企業の健全な発展は、今後の望ましい経済社会実現のための重要な要素といえますが、特に近年の地価高騰による相続税への影響は、企業の存立基盤をも危くするものといえましょう。また事業用資産は、一方で社会的資産といってもよい性格をも有していることでもあり、日本商工会議所では九月に事業承継円滑化のための税制措置について、次のような四項目の要望事項をとりまとめ、関係方面に要望しました。

その第一は、相続税についての基礎控除額や税率等の適正化であります。第二には、取引相場のない株式の評価方法の改善策として、類似業種比準価額方式での減額率の多様化、株式評価方法の改善、そして純資産価額方式における土地の評価減制度の導入などを要望事項としています。第三は、相続税納税円滑化対策として、非上場株式の担保化を積極的に認めるとともに、これを担保とする政府系金融機関からの長期で低利の融資制度の創設です。最後の第四は、生前における事業承継円滑化のため、事業用土地の生前贈与時の納税猶予制度の創設や非上場株式譲渡への源泉分離課税方式の選択と適正な譲渡価格の設定です。

これらについては、現在の社会情勢からみて、早急に実現するよう最大の努力を盡くしていく必要があります。

会 議 所

の 動 き



駅前再開発見直し作業が本格始動 函館駅前基本計画策定委開催

函館駅前再開発計画の全面的見直し作業の本格的なスタートとなる「函館駅周辺地域地区更新基本計画」策定のための第一回委員会

が去る十月十三日開催され、委員長の五十嵐日出夫北大工学部教授をはじめ、学界や本所平野専務理事を含む経済界からの委員、並びに国、道、市、そしてＪＲ関係者等による協力委員など二十名が出席して、駅前周辺地区の現状と今



後の課題などについて意見交換をしました。

函館駅前の再開発は、昭和五十四年度に駅前地域五・四ヘクタールを対象に「函館駅前第二地区市街地再開発事業基本計画」が策定されて以来十年が経過し、この間、当市では青函トンネル開通による津軽海峡線の開業や青函連絡船の廃止、さらには函館港再開発調査の実施、ＪＲ若松ふ頭再開発のスタートなど情勢が大きく変化してきております。これに対して駅前周辺地区では、函館ハービービルホテルなどが建設されましたが、その他の状態は殆んど変わっていないことから、その再開発を期待する声が高まり、駅周辺地域の新しい計画づくりが緊急課題となってきました。

こうした状況から、当市では既定の駅前周辺地区の再開発計画を見直すため、財全国市街地再開発

協会に新たな計画の策定を委託すると共に、問題点等を検討し地元として意見を出すための策定委員会を組織したものです。

当日はまず委員らによる駅前周辺地域の視察が行われ、その後、五島軒駅前支店において策定委員会が開催されました。委員会では、調査を担当している環境開発研究所北海道事務所より駅前周辺地区の現況と問題点、そして函館駅周辺地域地区更新基本計画の課題などについて説明が行われました。

この度の計画は、街区別に再開発計画を進める上でのガイドラインを設定するもので、駅周辺地区の街並みのあり方や駐車場の配置、旧国鉄用地の活用などについて港灣計画などの調整を図りながら検討することにしており、その策定地域については、都心商店街としての活性化対策も含めるため五十四年度計画より範囲を広げて駅前電車通り一帯を含む約三十九ヘクタールとなる見込みです。今後は策定委員会の意見などを基に、来年三月末にはマスタープランがまとめられる予定となっています。

婦人会・議員会の事業が活発化

青函会議所婦人会懇談会

青森、函館両商工会議所婦人会の懇談会は九月十三日、青森市の青函連絡船記念館「八甲田丸」で開かれ、今後の交流事業について協議、懇談しました。

懇談会には本所からの会員十九人を含め会員五十余人が出席し、青森側を代表して武田れい会長が「懇談会の成果をお互いの地域の特徴を生かした婦人会活動につなげたい。」と挨拶。これに対し、本所婦人会三谷雅子会長からは「



会員同志がよく知り合い親ぼくの輪がさらに広がることを期待したい」との挨拶がなされました。

引き続き交流事業について活発な意見交換が行われ、この中で「互いの行事に相互参加をしたい」「研修活動の範囲を青函両市域から、道南、県域に迄さらに広げたい」「広報紙を通じて情報交換を」などの意見があり、今後、より緊密な相互交流を検討することになりました。

議員会産業経済視察

函館商工会議所議員会の産業経済視察は九月十八日から二十日の

行程で長崎、北九州市を一行十一名が視察しました。

議員会（若山徳次郎会長）は、本所議員、監事で構成され、毎年事業の一つとして、当市の産業経済発展に寄与するための先進地視察を実施しており、今年も長崎市のオランダ村を中心とした観光施設を視察しました。また、現在長崎市では「旅博覧会」が開催されており、函館と長崎は観光友好都市であるという関係から、木戸浦函館市長を始め市からも一行十九名が長崎入りしており、十八日に行われた交流レセプションに議員会も当市経済界として出席し本島長崎市長らの歓迎挨拶や記念品の交換などが、なごやかに行われました。

鹿児島会議所との都市再開発視察懇談会を開催

去る九月十二日、鹿児島商工会

議所の政策研究会（団長高橋良宜 鹿児島経済大学教授）一行六名が新潟・北海道の都市再開発実態視

察のために当地を訪れ、本所において懇談会が開催されました。

鹿児島市では錦江湾岸地区の再開発や西鹿児島駅前地区の市街地

再開発計画に取り組んでいます。当市と同様に運輸省のポートルネッサンス21構想地区に指定されていることから港湾計画を中心とした先進地視察として来函されたものです。

懇談会ではまず、本所から函館港の歴史と現状、ポートルネッサンス21計画に基づく函館港の整備方針、物流動向などの説明が行われ、その後質疑応答に入りました。が、鹿児島側からは倉庫群活用状況とその開発に至る経緯や港湾機能の能力などの面について熱心な質問が出されました。

このあと現地視察が行われ、函館ヒストリープラザ、ベイはこたて、ピアマーケットなどウォーターフロント施設や西部地区の文化施設さらには歴史的建造物の再利用状況などを見学しました。

なお、一行は函館に次いで小樽市（小樽マリナー計画）、釧路市（フィッシャーマンズワーフ）を視察することとした。

次期開催地が当市に決定！ 観光土産品公正取引協全国大会

去る十月三日、山梨県甲府市の甲府富士屋ホテルを会場に、全国各地の観光土産品公正取引協議会の代表およそ二百名が参加して全国大会が開催されました。

この大会は、観光土産品の表示に関する公正競争規約に基づく諸表示、包装、品質及び価格等の適正化をはかるために、全国の観光土産品業界が結集し、企業と消費者の利益の接点を提案し、業界の



発展に寄与することを目的として毎年開催されています。

会議は会長・事務局局長会議、全体会議の順に開催され、全体会議では議事に先立ち、永年に亘り公正競争規約の実践と普及に尽力し業界の発展に貢献した全国の会員十六名が表彰され、当みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会（事務局本所内）からは榎第一食品の清水栄吉氏が晴の受賞をされました。

来月「税を知る週間」 多彩な催し物を開催

例年、十一月十一日から十七日の一週間を「税を知る週間」として、国民各層の税に対する知識を深めてもらうため、全国一斉に多彩な行事が催されています。今年

続いて公正取引委員会の鈴木景品表示課長による「最近の景品表示行政をめぐる動き」と題した講演の後、規約の運用方法、新食品添加物表示の周知徹底等について順次議決され、最後に次期開催地として決定された函館を代表し当協議会の榎不二屋本店の名取喜昭会長が力強く開催受諾の挨拶を行いました。

尚、次期開催地が函館ということもあり、名取会長をはじめ役員、会員そして事務局職員など計八名が、来年度へ向けての視察も兼ねて参加しました。

した。

税務署主催行事としては、「ミス函館による一日税務署長」「三税合同納税表彰」、「租税教室」、「国税モニター、広報協力委員による座談会」などが予定されています。一方、関係民間団体主催行事については従来八団体（本所、法人会、青色申告会、税理士会、日本税務協会、納税貯蓄連合会、問税会、酒類懇話会）がそれぞれ独自に協賛行事を開催しておりますが、本年は協調、統一出来る催しについては同一会場で実施することになりました。これにより、週間行事の内容を一層充実させ、PR効果も高めたこととから、「'90タクスフェア」と副題をつけ、長崎屋函館店を主会場に、クイズ、テレビゲーム、アニメビデオなどイベント性も加味して一般市民も参加しやすい催しとして計画しています。

なお、八団体に加え亀田・銭亀沢両商工会にも協力を戴き実行委員会を結成し、数回に亘り、行事内容について打合せ検討を重ねているところです。

事務局日誌

9月



- *部会
 - 7(金) 商業・農水産部会合同会議(議員)
- *委員会
 - 10(月) 総務委員会
- *正副会頭会議
 - 1(土) 第51回正副会頭会議
 - 13(木) 第52回正副会頭会議
 - 25(火) 第53回正副会頭会議
- *会議(道南連)
 - 4(火) 第25回北海道・東北商工会議所連絡会議
 - ” 第25回北海道・東北商工会議所専務理事・事務局長会議
- *④審査会
 - 11(火) 小企業等経営改善資金の審査会
 - 27(木) ” ”
- *諸会議
 - 3(月) 新幹線現函館駅乗入れ促進期会常任幹事会
 - 4(火) みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会役員会
 - 7(金) 第7回湯の川温泉活性化推進懇談会
 - 10(月) 函館市共同募金会「法人募金推進協議会」
” 議員会役員会
” 函館都心商店街振興組合第21回近代化推進委員会
 - 11(火) 道商工労働観光部「労働時間短縮業種別懇談会(水産加工業)」
 - 12(木) 第3回「世界を結ぶ北緯42度の里」推進計画策定委員会
” 第1回函館市住居表示審議会
” 助テクノポリス函館技術振興協会地域技術選定委員会
 - 13(木) 第2回函館・青森商工会議所婦人会交流会
 - 14(金) 道南会懇談会
” 函館中国经济促進協会役員会
 - 17(月) 函館市都市計画審議会
” 感動市場函館会場実行委員会
” 渡島支庁「管内観光・物産事務担当者会議」
 - 18(火) 平成2年度第2回小規模企業振興委員連絡会議
 - 19(水) 道立函館高等技術専門学院「函館地域職業能力開発推進会議」
” 函館市商店街振興組合連合会「市民生協との協議会」
 - 20(木) 国立函館大学誘致促進期会第7回学部検討委員会
” 道通産局「新小売商業振興策に関するブロック別の説明会」
 - 21(金) 函館管工事業協同組合懇話会「管工事業における女性の職場進出を考える」

- 25(火) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会幹事会
” 函館税務署「税を知る週間」協議会
- 27(木) 函館特産食品工業協同組合「地場産業総合振興事業(需要開拓事業)実施委員会」
” '90渡島地域ニューフロンティア・フェスティバル実行委員会
- 28(金) 道商工労働観光部「平成2年度特定地域中小企業振興計画推進会議」
” 函館繊維商組合創立50周年記念式典実行委員会
” 函館経営者協会平成2年度第3回幹事会
” 婦人会役員会

*講習・催物

- 3(月) 札幌学院大学第4回函館市民講座
- 6(木)~11(火) 青森・函館ツインシティ「第2回あおもり・はこだて特産品まつり」
- 7(金) 記帳講習会
- 9(日) 第48回全道珠算競技大会
- 12(水) 経営相談
- 13(木) 記帳講習会
- 15(土)・16(日) (日)日本自動車販売協会連合会函館支部「自販連日AKODATE大中占車博覧会」
- 18(火) 複式簿記講習会(基礎コース)
- 19(水) 発明相談
- 20(木) 記帳講習会
- 21(金) 複式簿記講習会(基礎コース)
- 25(火) ”
- 27(木) 記帳講習会
- 28(金) 法律相談
” 複式簿記講習会(基礎コース)

*刊行物

- 20(木) 所報「ともえ」No.112(9月号)発行

*相談・診断

金融 119 税務 53 経理 24 経営 104
労働 4 取引 0 その他 0 計 304

*貸室

本館 38 別館 9

*文書

受信 196 発信 8

*慶弔・その他

- 2(月) 本所議員西村憲人殿ご尊父・元常議員西村敏雄殿ご逝去
- 5(木) 山下北海道運輸局長を囲む名刺交換会並びに歓迎晩餐会
- 6(木) 函館商工会議所第1回「会員懇親の集い」
- 9(日) 陸上自衛隊函館駐屯地創立40周年並びに自衛隊函館地方連絡部創立34周年祝賀式典・祝賀会
- 11(火) 函館あけぼの会総会・懇親会
- 12(水) 故西村敏雄殿葬儀
- 14(金) 故今井道雄道商連名譽会頭葬儀
- 18(火) 函館警察官友の会「永年勤続警察職員表彰式」
- 18(火)~20(木) 議員会産業経済視察(長崎・北九州)
- 19(水) 函館繊維商組合清遊会
- 21(金) 平成2年度障害者職場見学会
- 26(水) 寺本北海道財務局長来所
” 第3回四共済ゴルフ大会
- 27(木) 議員会懇話会

68年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 11月21日 水曜日午後1時から午後5時まで。函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申し込み下さい。

輸出が好調なため目一杯の操業を続行、段ボールも、青果物向け等を中心に前年をかなり上回る出荷水準を維持。また合板でも、家具向け需要等を主体にますますの生産を続けている。一方漁網では、海外での漁獲規制の動きから漁撈筋の購買意欲が鈍化しており、総じて低操業を余儀なくされている。この間、漁網関連原材料の一部で、原油高を映じ値上げの動きが台頭しはじめている。

(4)建設関連

管内主要5管庁の公共事業発注額（8月末累計）は、港湾関連事業等を中心に前年並みとなった（前年比△1.6%：8月末進捗率74.4%〈前年同72.8%〉）。一方民需では、製造業での工場増設や小売業における店舗新設の動きが続いているほか、市内新設住宅着工戸数も、分譲マンション・賃貸アパートの着工増から高水準で推移（8月：前年比+4割強）。

(5)農・漁業

農作物をみると、主力水稲が豊作の見通し（生育状況「良」）にあるほか、長ネギ等葉物野菜の出荷も順調。

近海マイカ漁は、魚群の北上から低調裡に推移しているが、本格採取期入りの真コンブや漁期入りの秋サケ定置網漁は、総じて順調な水揚げをみている模様。

(6)消費関連

8月中の市内大型小売店（10か店）の売り上げは、残暑の影響から秋物衣料品の出足が鈍かったものの、身回り品、食料品等が好伸したため、全体では前年比+6.1%の増加。9月入り後も、売れ筋の身回り品等

が順伸しているほか、秋物衣料品も持ち直していることから、全般に亘り底固く推移。耐久消費財をみると、8月の新車販売台数は、前年比+3.1%と前月（+6.3%）に比べ幾分伸びを低下させたが、総じては引き続き高水準で推移。また家電販売も、大型カラーTV、カメラ一体型VTR等を中心に順調な売れ行き。一方、観光・レジャー面をみると、今夏季シーズンは好調な前年を上回る入込みを達成したほか、先行き秋の宿泊予約も団体客を中心に好伸している模様。

3. 金融事情（8月中）

- 実質預金は、法人預金が流動性預金を主体に前年を下回る増加に止まったものの、個人預金が顧客の金利選好意識の強まりに伴い自由金利商品を中心に順調な増加を示したこともあって、月中144億円増と前年（143億円増）並みの増加。一方貸出も、水産加工、建設業等の運転需資や卸・小売、サービス業等の設備需資が堅調に推移したため、月中79億円増と前年（80億円増）並みの増加となった。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、新短プラの利上げ浸透等を映じ月中+0.115%と17か月連続して上昇した。
- 銀行券は、観光客の入込み増加を映じた行楽資金の順調な還流等から、月中95億円増と前年（81億円）を上回る還収超となった。
- 財政収支は、郵便局の支払が増加したものの、租税、保険等の受入れが前年を大きく上回ったため、月中31億円の受超となった（前年同25億円）。

8月

平成2年9月28日

地域の 景気

—— 日本銀行函館支店 ——

1. 概 況

- 最近の管内経済動向をみると、企業の売上げ・生産は個人消費、設備投資を中心とした内需の腰の強さを背景に増勢を持続、また企業の業況良好感も引き続き高水準を維持するなど、管内景気は総じて好調裡に推移している。
- すなわち、製造業では、漁網等の売上げ・生産が鈍化しているものの、水晶振動子、一般機械、セメント、半導体がフル生産態勢を続行。また水産加工、段ボールが、需要最盛期を迎え生産水準を引き上げているほか、造船でも高目の生産を維持、乳製品も引き続き堅調な売れ行きを示している。一方非製造業では、建設需要が旺盛なほか、堅調な消費地合いを背景に百貨店売上げ、自動車・家電販売とも順調裡に推移。観光関連筋でも、余暇の拡大等から好調な前年を上回る賑いをみている。
- こうした状況下、8月に実施した管内企業短期経済観測調査結果では、企業の収益・設備投資とも当面底固く推移する見通しにあるが、ここもと各界において原油高騰の影響につきチェックする動きがみられはじめている。

- 8月の金融動向をみると、預金が大口定期等自由金利預金を主体に、また貸出も、増運・設備需資の堅調推移から、それぞれ前年並みの増加を示した。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、利上げ交渉の進捗等から引き続き上昇した。

2. 主要業種別動向

(1)機 械

半導体では、旺盛なOA・通信機器需要を背景にフル操業態勢を続行、水晶振動子も、パートの採用増等により生産水準引き上げに注力しており、新工場建設にも着手。また、合板・製缶機械は内外ユーザーの設備投資盛り上がりから、それぞれ7～8ヵ月程度の仕事量を抱え繁忙裡に推移。造船では、修繕船・陸機部門の受注が前年を大きく上回っているため、高めの操業を続けており、近々新造船の建造にも着手。

(2)食 料 品

水産加工では、年末の需要最盛期を間近に控えているほか、秋の物産展での商談も順調に滑り出していることから、ここにきてさらに生産水準を引き上げる先が増えてきている。また乳製品でも、飲用乳や練乳等の需要が夏場の好天を背景に増加したほか、首都圏における販路拡充の奏効もあって、全体では前年を上回る生産を続けている。飼料・魚油では、飼料の引き合いは引き続き鈍化しているものの、魚油（輸出）は海外メーカーの減産を背景に前年を上回る船積み。

(3)その他製造業

セメントは、首都圏向け出荷や米国向け

図-1 灯油価格の推移 (1ℓホームタンク)

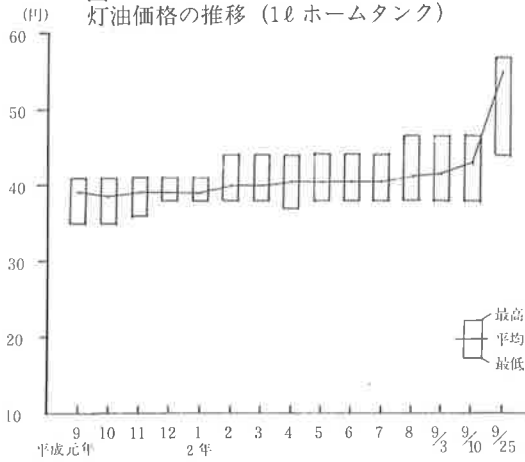


図-3 ガソリン価格の推移 (1ℓ当り現金単価)

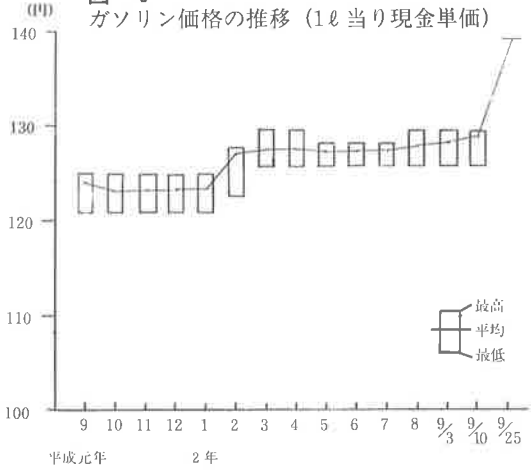


図-2 灯油価格の推移 (18ℓ缶配達)

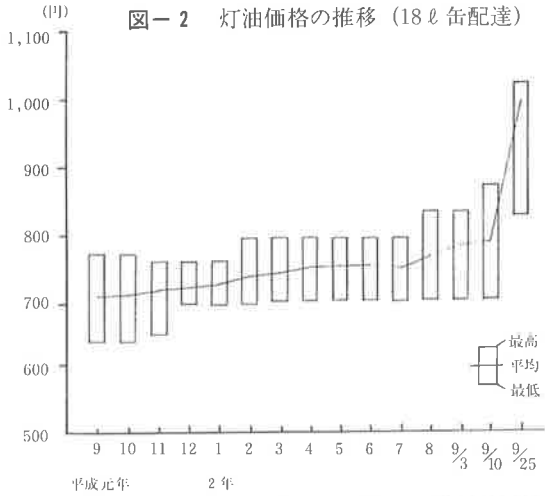
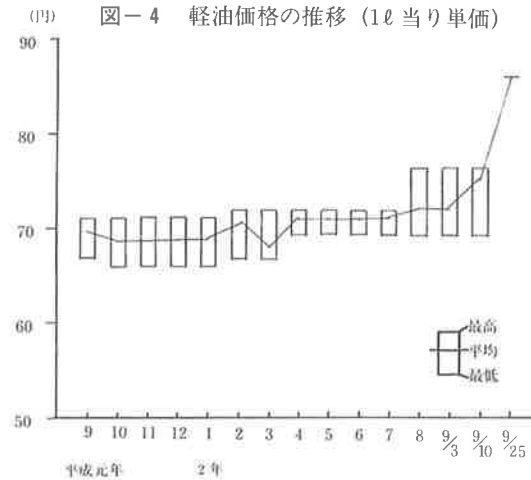


図-4 軽油価格の推移 (1ℓ当り単価)



統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高 (10店) 平成2年8月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,348,347	68.1	104.6
身回品	575,301	83.7	111.0
雑貨	701,491	101.8	104.5
家庭用品	663,631	90.6	100.1
食料品	2,027,209	96.9	109.5
食堂・喫茶	199,042	115.2	94.6
サービス	107,490	82.6	103.8
その他	544,355	62.6	115.0
総計	7,166,866	81.2	106.4

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店をいう。



(平成2年9月現在期)

函館市 灯油・ガソリン 価格の動向

函館市では、毎月家庭用灯油・ガソリン等の小売価格（消費税含む）調査を実施していますが、最近の動向について概要をお知らせします。

平成2年9月25日現在の灯油1リットル当たりの平均価格は55.01円で定期調査日の9月10日からの15日間で、25.9%、11.33円値上がりし、18リットル缶（配達料含む）では992.51円、同24.4%、194.94円値上がりしている。

石油製品価格は、中東紛争から原油価格が急騰した影響で元売り各社が一斉に卸値を上げ、販売小売店も軒並み値上がりとなり、ガソリン・軽油価格では、調査各店が同一価格となっている。

昭和63年度は、暖冬、円高原油安、各社間の競争等から価格は前年度実績割れが続き、平成元年度は消費税転嫁の価格上昇、2年度当初は比較的落ち着いた値動きだったのが、中東情勢による原油高と、円高によるコスト安の影響から今後は大きな変動が予想される。

(表と図1～4)

市内灯油・ガソリン平均価格の推移

(単位：円)

	灯		油		ガソリン		軽油	
	1リットルホーム タンク	前年比	18リットル缶 (配達)		(現金)		前年比	前年比
			前年比	前年比	前年比	前年比		
昭和61年平均	56.55	Δ 18.0	1,047.59	Δ 17.9	127.62	Δ 12.2	86.53	Δ 16.1
昭和62年平均	43.50	Δ 23.1	806.91	Δ 23.0	122.44	Δ 4.1	79.22	Δ 8.4
昭和63年平均	35.42	Δ 18.6	658.90	Δ 18.3	117.23	Δ 4.3	65.37	Δ 17.5
平成元年平均	36.48	3.0	677.27	2.8	122.70	4.7	68.12	4.2
平成元年								
7月	37.47	5.7	694.62	5.2	125.29	8.0	69.52	6.1
8月	38.34	7.9	704.85	6.5	125.47	5.2	69.52	5.8
9月	39.02	10.3	713.27	8.3	124.35	6.0	69.52	6.6
10月	38.91	13.7	715.55	12.2	123.60	7.6	68.90	8.0
11月	39.17	18.8	725.28	18.5	123.41	7.7	68.49	9.2
12月	39.06	20.4	725.19	19.5	123.41	8.1	68.80	10.3
平成2年								
1月	39.02	20.4	723.13	19.1	123.23	7.8	68.59	9.9
2月	40.30	17.0	740.55	15.9	127.16	6.8	70.86	6.6
3月	40.38	19.4	743.13	17.4	127.44	7.3	71.06	7.8
4月	40.78	18.8	750.18	16.3	127.06	3.9	71.06	5.7
5月	40.82	14.3	749.58	12.4	126.88	0.1	71.06	0.1
6月	40.82	16.4	747.88	13.8	126.88	1.0	71.06	1.9
7月	40.74	8.7	746.64	7.5	126.78	1.2	71.06	2.2
8月	41.66	8.7	762.88	8.2	126.97	1.2	72.71	4.6
※9月 3日	42.25	—	772.36	—	127.72	—	72.71	—
9月10日	43.68	11.9	797.57	11.8	128.28	3.2	74.98	7.9
※9月25日	55.01	—	992.51	—	139.05	—	86.82	—

注1 平成元年4月より平均価格には消費税が含まれています。

注2 平成2年7月より調査日は21日から10日に変更。 ※印は臨時調査。

(函館市消費労働課)



商店街こそ最高の観光資源

「本物」を求めて人は集まる

— 地方における商店街 活性化の思想と切り口① —

庄司経営開発事務所 中小企業診断士 庄司 俊雄

南北に数千キロメートルにわたり走る日本列島、そこには極めて個性豊かな季候風土、歴史的背景、風物詩が数多く息づいている。それにもかかわらず、商店街だけは金太郎飴みたくどこへ行っても似たりよつたりで画一化されているのはどうしたことだろう。結局のところ東京などの大都市の真似をしているからであり、自らの商店街に対する思想がないからである。

二十一世紀を目前に控え、地方に生きるわれわれがこの病弊を破り、地域の個性が脈々と息づく新しい商店街を創造していくために、今、一番大切なものは何であろうか。

〈商店街に対する思想の確立〉

個々の人間にとっても一番大切なことは生きていくための思想や精神の一貫した姿勢である。これがないと、ただ生きていくだけであり、他の動物と変わらないことになる。

思想とは、物事に対する一貫した見方、考え方、日常の行動や生活の仕方についての方針のことである。しっかりと思想とは、しっかりと信念のことである。目先の利害に動かされず、自分の信念をもって行動していくことを「思想をもつ」というのである。

商店街づくりも同じである。一貫して流れる商店街づくり

に対する思想をもっていなければ魅力的で個性溢れる商店街は創れない。

商店街づくりに必要な思想とは、

思想① 商店街は、そのマチの鏡である。

「子は親の鏡」と言われると同じように、そのマチに既にある商店街、新しく創りつつある商店街、あるいは、商店街づくりにかける人々の姿勢を見れば、その町の文化度や力量、意識の高さを鏡を見るように読みとることが出来る。

自然は神が創り給うたものであるが、商店街は、そこに住む人間が創るものだからである。仕事で全国を駆け回っていると、よくあることだが、「私達のマチは自然に恵まれ、緑豊かなマチです」と言いながら、商店街には街路樹一本、花壇一つない。「緑はどこにあるの」と聞くと「山に行けばあります」では笑い話にしかない。

そのマチの風土の香り、生活の息吹き、培ってきた歴史伝統など手塩にかけてはぐくんできたものが商店街の中にこそシンボライズされたり、ディフォルメされた形で見事に凝集されていなければならないのである。

思想② 商店街は最高のコミュニティー施設である。

全国の市町村で創っている総合計画や基本構想をみてみると「心豊かな……」「触れ合いのある……」「やすらぎを感じられる……」「人情豊かな……」「故郷の温もりのある……」という言葉が極めて多く、結局は地域のコミュニティーの構築がまちづくりの大きな柱になっていることがわかる。

しかし、コミュニティーセンターや総合体育館、文化会館、市民会館だけがコミュニティー施設ではない。商店街こそ最大のコミュニティー施設であるという思想が大切である。商店街とは単なる買い物場ではない。生活の場であり、人と人の触れ合いの場でもある。庶民の喜び、悲しみ、楽しみ、愛すること、憎むこと、生きること、死すること、見ること、食べること、歌うこと、踊ること、学ぶこと、作ること、壊すこと等、人間生活の凝集が商店街なのである。時には朝市や夜市が立ち並び、お祭りがあり、家族ではしゃぎ回るのも商店街である。

だから、行政がその総合計画などの中で追い求めている地域コミュニティーの構築と商店街づくりは軌を一にするものであり、商店街づくりに行政の援助を強く求めることは決して商業者のエゴではないのである。

思想③ 商圏という発想を捨てること。

筆者の知る限りでは、全国どここの商店街開発計画を見ても、結局は商圏という考えからスタートしている。

わかりやすい数字で言うと、当市の人口は五万人。そのうち隣接する他都市へ流れている人口は一万人いる。したがって実際の商圏人口は四万人である。一人当たり年間消費購買力は例えば百万円。故に当市の購買力は泣いても吠えても四百億円しかないのだから、再開発するに当たって投資できる金額はせいぜいこれ位であるという発想である。どんなに高等数学を使おうと、単純な算術を使おうと根本はこれしかないのである。この考え方を破らない限り地方の小都市になるほしよせんたい

したことはできなくなってしまう。

それでも少ない予算をやりくりして、せめて街路灯ぐらいは新設しようということになり、立派な街路灯が出来上がったが、夜七時半になると全店が閉店していたというのは何のための街路灯かという笑い話になってしまふ（結構多い例である）。商圏という考えを見直すべき時期である。本当にいいものを創れば人々は地の果てからでもやってくる時代である。それを支えるだけの交通機関、道路網、そして自家用車があることを忘れてはいけない。

ドライバーの心理になってみれば、いったん車に乗ってしまったら三十分も二時間も大差はないのである。

「本物」を手にするためには、お金も時間も惜しまないのが現代人の特性である。

また多くの地方都市で観光開発が盛んであるが、名所旧跡や温泉や湖だけが観光資源ではない。むしろ、すばらしい商店街こそ最高の観光資源である。観光といえども、最後はお金を使う場がなければ経済効果は期待できないからである。

地域の個性が見事に表現された魅力的商店街に様々な地場産品の店や郷土色豊かな料理の店、遊び場があれば地元民だけでなく、観光客もまた大切なお客さんになり商圏の壁を破ることができるのである。

(つづく)

【庄司俊雄（しょうじ・としお）氏の略歴】

昭和14年北海道・小樽生まれ、昭和38年小樽商科大学短期大学部卒業、小樽市役所勤務を経て、昭和56年庄司経営開発事務所設立、現在に至る。昭和62年東京連絡事務所開設。中小企業大学校東京校講師（情報診断士コース）

主な著書に「生き残りをかけた大型店対策」（誠文堂新光社）、「商店の計数管理ノート」（同）、「商店の経営計画ノート」（同）、「儲かって笑いのとまらない商店街の研究」（エール出版）など多数。

函館商工会議所の

新大型保障プラン

必要保障額 ……「4つの資金」の合計額です。



・大型保障プランの特徴

- 安い保険料で大きな保障
最高2億5,000万円の大型保障
- 保険料は全額損金に算入できます。

・幅広くワイドな保障内容

万一の死亡から、入院・手術の保障、
更に、不慮の事故による通院・傷害を
も保障するワイドなプランです。

***** 新大型保障プランは こんなにお役に立ちます。*****

・企業経営のために

- 企業の信用維持
万一経営者、役員死亡のときでも、保険金によって経営資金が調達でき、信用維持に役立ちます。
- 個人保証・借入の返済
支払われる保険金で、個人保証や担保提供の借入金返済ができ、個人財産への影響を回避できます。
- 退職慰労金の資金確保
死亡保険金を退職慰労金の財源にあてることができ長年の功績にふさわしい金額を差し上げることができます。

・ご家族のために

- ご遺族の生活保障
死亡保険金を財源とする退職慰労金で、ご遺族の生活が保障されます。
- 相続税の納付資金
退職慰労金を相続税の納付資金に充てることができます。

委託会社



日本団体生命保険株式会社

函館支社 TEL(0138)55-1777



飽食時代の 栄養不足

お年寄りが、寝たきりになっ
てしまう原因に、脳卒中や、大
腿骨などの骨折によるものがあ
ります。脳卒中は次第に減って
きていますが、骨折はむしろ増
加しているとさえいわれます。

骨折を起こす主な原因
は、骨がもろくなる骨粗
しょう症という病気のため
です。お年寄り、なか
でも女性に多く、八十歳
以上の女性の七割がこの
病気にかかっているといわれ
るくらいです。

骨粗しょう症は閉経期以後の
女性にみられるので、女性ホル
モンが関係しているのは確かだ
ですが、他の原因としてカルシウ
ムの摂取不足や腸管からのカル
シウム吸収が低下していること
も挙げられています。

六百ミリグラムが

一日に必要

カルシウムは、日本人に不足
している栄養素の一つです。

カルシウム

骨がもろくなる 骨粗しょう症

骨中に含まれるカルシウムは、
サクラエビで千五百ミリグラム、
干しアミでは千八百ミリグラム
となっています。しかしこうし
た小魚を毎日摂取することは難
しく、また最近では敬遠気味の
人も多くなっているようです。



国民全体の平均では、必要量
より約一〇%不足しています。
三分の二の国民はカルシウム不
足だといわれています。

現在、日本人のカルシウム必
要量は、成人一日六百ミリグラ
ムですが、骨粗しょう症の予防
には一日千ミリグラムが必要と
考えられています。

食品によって 違う吸収率

これに対し、牛乳に含まれる
カルシウムは、百グラム中百ミ
リグラム程度と少ないのですが、
一本(二百グラム)飲めば、二百
ミリグラムとることができま
す。そのうえ、牛乳は小魚に比べ
ると、腸管からのカルシウムの吸
収率がよく、小魚の三七%に
対し、牛乳は五〇%の吸収
率となっています。また、
野菜では、ほうれん草に
多く含まれ、百グラム中
六十ミリグラムで、吸収
率は一七%です。

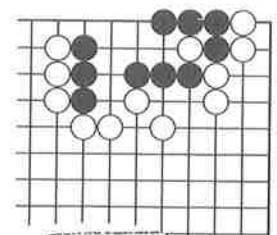
吸収を促進するものには、ビ
タミンDや乳糖があり、一方、
しゅう酸や食物繊維などは吸収
を阻害します。牛乳は、こうし
た促進物質を多く含んでいるた
め、高い吸収率になっています。
逆に、ほうれん草の場合、阻害
物質が多いため、低くなってい
ます。

飽食時代の今日でも、カルシ
ウムの摂取はまだまだ不十分で
す。牛乳や小魚などカルシウム
の多い食品に、もっと目を向け
てほしいと思います。

東京家政大学教授(公衆衛生学専攻) 若米地 孝之助

有段を目指して

詰碁
出題 九段 武宮正樹
白先黒死・5手まで
●ヒント：俗手の攻めが良い。
3分で2級、1分以内で有段
者



詰将棋
出題 八段 北村昌男
●ヒント：2一の角が動きたせ
ば、しめたもの。
8分で2級、5分で初段。
持駒 桂

6	5	4	3	2	1	
				角	皇	
			竜	皇	王	
				金	糸	
			銀	銀	母	

(正解は22ページ告知板にあります)